

やすいという「良い循環」になっていることが有効である。

(vi) **早掘り完熟イモ生産効果**：一般的な早掘りは、ある程度の大きさに達すればよく、熟度は度外視されるが、浴光育芽による早い出芽は、早い肥大開始とより長期の肥大に結びつき、成熟が進んでいて市場評価が高い。

(vii) **デンプン価の上昇効果**：デンプン価（またはライマン価）は、正しい施肥条件であればどの地域でも、図3に示したように肥大開始期の8%から、少なくとも10日に1%の上昇率がみられる。そして肥大期間約60日の後14%以上になって初めて粉ふき性のすばらしい食用適性に達する。浴光育芽技術はこれをより確実にする。一般には多肥で上昇率が低く、肥大期間が短いこともあって、11~12%の低い粉ふき性の悪いものが多い。

(viii) **規格歩留り向上**：株当たりイモ数が多くなるから、十分に肥大期間をもって、現状のような260g以上の巨大変形粒が出現しないから、規格歩留りは現状の50~65%が、80~95%に画期的に上がる。

(ix) **クロアザ病にかからない**：正しい浴光育芽の濃紫色の堅い芽には、ぎっしりとデンプンを集積し、クロアザ病菌があってもかから

ないで出芽する。逆に軟弱な芽はクロアザ病にかかりやすく、出芽不能や茎数減少となり、その後イモ数減少や変形イモ発生に導く。

(x) **種イモ使用量が節減できる**：浴光育芽技術が進むと、規格外の20~40gの種イモがかって好結果をもたらす。現状は株あたり切片重が約45gだから、使用量を半減できることになる。だが、これには採種栽培がこうした小全粒種イモの生産割合を高める技術を持たねばならない。そのためには原種栽培自身が全粒種イモ割合を高める技術をもつ必要がある。

i) 正しい採種栽培

上述の3月と4月の診断法を通じて強調されるのは、種イモの良否の重要性である。採種は原種をも含めてホクレンが行うが、ウィルス病でさえ10年周期説があって対策に大わらわであるばかりでなく、ソウカ病、ナンブ病、クロアザ病、カンブ病、粉状ソウカ病などの土壌病害がひどく、中心空洞、維管束褐変、黒色心腐などの生理障害もひどい。それで前述した小全粒種イモ生産の要望も含め、日本農業新聞北海道版に、本年1月5日から10回シリーズの「これが理想だバレイショの種イモづくり」を書いた。これも植付前の診断資料として活用している。（つづく）

『ジャガイモと映画—その2』

○真紅の海賊○

18世紀のカリブ海を舞台にした娯楽映画だが、ジャガイモ屋からみると、ランカスターの演ずるパローを船長がジャガイモのビタミンCの力を教えた教育映画となる。

その映画に、船乗りのすべてが壊血病にかかって漂流していると見せかけておき、その漂流船を拾って港まで引いていこうと寄ってきた船に襲いかかるシーンがあった。無敵の海賊でも、ジャガイモが積み込み食糧として活用される以前は、ビタミンCの欠乏には勝つことができなかった。そんな自らの体験から、この映画のような罠（わな）を考えついたのであろう。

かつて、マゼラン海峡を通り、めざす太平洋に

でたときには乗組員の3分の1が壊血病で死亡していたという記録が残っている。

○スターウォーズ○

遙か彼方の銀河系における大冒険の話。悪の化身の親衛隊長ダース・ベイダーの率いる帝国軍と若いルーク・スカイウォーカーら自由の戦士たちの反乱軍とのあいだで、激しい戦いが続けられていた。氷の惑星ホスの秘密基地を帝国軍に発見され、激しい攻防の末、反乱軍は全員退去することになる。ハン・ソロ、レイア・オーガナ姫たちはファルコン号で脱出する。しかし、敵の宇宙船に追われ、小惑星帯に飛び込んでしまう。

この宇宙空間に点在する無数の小惑星の中にSFXスタッフが遊び心で入れた本物のジャガイモが一個混じっていた——と言う話である。

（北海道立中央農業試験場 主任研究員 浅間和夫）